



この度は、かけはしチャンネルWeb講座2024の申し込み・ご視聴、誠にありがとうございました。

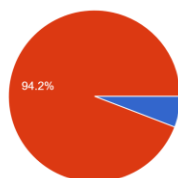
206名の申し込みと50件のアンケート回答をいただくことができ、皆様のご意見等もいただくことができました。

今回、申し込み時にいただいた質問や視聴後アンケートでいただいたご意見などを集計いたしました。今回の内容に沿ったものとしてお答えできるものだけですが、回答も公開させていただきます。

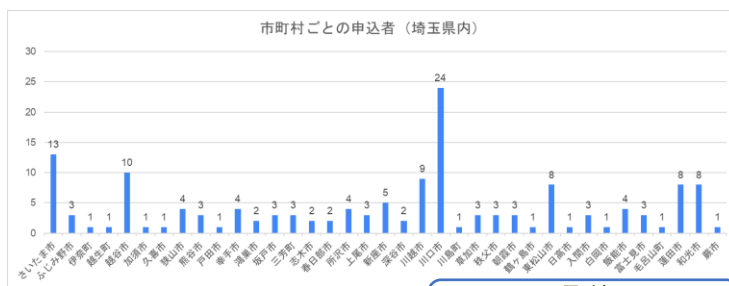
視聴登録者データは全体人数以外は支援者側の地域・職種のみ掲載いたします。

個人情報や個を特定できるような内容などは除外させていただいておりますので、その点はご了承ください。

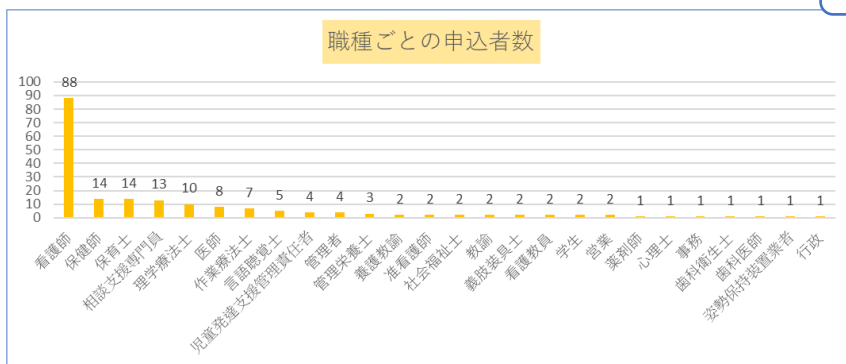
今回の申し込みはどなたがされましたか？  
206件の回答



● A. 障害のある方本人またはご家族  
● B. 病院・事業所等の関係職種(教育・行政の方もこちら)



県外  
18都道府県43名



【今後行ってほしいテーマなど】

**全般（当事者家族・支援者）**

- ・食事とリスク。人工呼吸器について。吸引や気管カニューレ・気管切開について。
- ・てんかん発作。
- ・サービスやサポートについて。学習、就学準備、社会とのつながり
- ・訪問看護について
- ・災害と対応について
- ・遊びと遊びのバリエーション

**支援者・医療職種向け**

- ・医療的ケアのある方の課題や留意点
- ・医療的ケアのあるお子さんとの関わり方、コミュニケーション  
食事と評価、
- ・事故対応：カニューレ抜去、胃ろう事故抜管
- ・多職種との関わり方
- ・家族支援、支援者のメンタルケア。

<質問に対する講師からの回答>

Q：いただいた質問内容 A：講師からの回答 です。

## 小児の薬のかたちと飲み方

Q	胃ろうから注入する薬を、早めに準備しておきたいのですが、水薬(てんかん、微量元素)や粉薬(痰切り、整腸、抗アレルギー)などをすべて混ぜた状態で数時間おいても大丈夫なのか
A	水薬と粉薬を混ぜるのは投与5-10分以内が望ましいと考えます。 粉薬同士ではその日のうちであれば前もって混ぜても問題ないことが多いですが、衛生面を考慮すると長時間の放置は避けてください。 また、粉薬を水で溶いての準備も投与5-10分以内を目安としています。
Q	苦いであろうてんかん薬を口に30分ほど含んで飲み込まない方がいます。チョコなどと一緒に飲んでいるのですが、なかなか飲み込みません。何か他にもいい方法はありますか？
A	喉を通過するときに苦みを強く感じてしまうのでしょうか。 飲み込むこと自体が苦痛であったり、飲んだ後に嘔気等の不快感があったりした経験があるのでしょうか。 すでに試しているとは思いますが、ゼリーやオブラートなど本人の飲み込みやすいものが見つかるといいですね。
Q	重症心身障害児で、経口摂取が、過敏な子供さんの支援をしています。苦味が感じられるものを飲む時、お湯で溶かして、シリンジで経口摂取していますが、飲み込みが苦手で、口の脇からこぼれる事があります。薬に限らず、脇からこぼれる状況があるので、薬に関して、効果的量は大丈夫なのか、不安です。
A	こぼれる量にもよりますが、長時間作用する薬であれば、1回分限りの摂取量不足による影響は少ないと思われます。 もしくは、いつも同じくらい飲めている(こぼれる)状況であれば、体に取り込めている量で有効であると考えられることもできます。 「こぼれる」という状況をご家族や主治医と共有しておくことは、今後の治療方針や用量調整の際に重要です。



## 食べる力をはぐくむ

Q	頬に食べ物を入れてなかなか飲み込まないお子さんへの対応について 原因は不明ながら、ごっくんができ、むせもないけれど、食べるのに時間がかかりすぎ、つい押し込むかたちの介助になってしまい困っています。
A	献立によってゴックンができる時間に違いはないですか？もし、早く飲み込めるものがあるようならば、早く飲み込めるものを毎回の献立に取り入れると良いかも知れません。また、周囲が賑やかであるなど、集中ができずに時間がかかるようでしたら、静かな場所で食べるようにしてみるのも良いかも知れません。また、食事の後半になって飲み込みが遅くなる場合は、疲れてくるのかも知れません。後半は介助で食べてみると良いかも知れません。
Q	口唇を閉じずに歯で取り込むお子さんについて：過敏があるのでしょうか。
A	現在も過敏があるか、過去に過敏があるためにそのような取り込みかたを身につけた可能性があります。 現在、口唇に過敏がなければ口唇を使って取り込むことを見せて教えたり、口を使うおもちゃや楽器などで口唇を使う誘導をしてみてもよいと思います。ただ、ある程度の年齢で習慣になっていると変えることが難しいことがあります。そのような様子ならば、安全に食べられているならば、見守ってもよいかも知れません。
Q	食形態について
A	今回は、お子さんのお口やのどの機能にあった献立を選ぶことが大切であることをお伝えしました。それぞれの機能に合わせた食形態の設定や選び方については、次回に譲らせていただきます。

以上、簡単ではございますが、参考にさせていただければと思います。


回答は必ずしも全ての方に当てはまるものではありませんので、参考にさせていただきつつ、具体的なお困りごとがある方は、まずはお住まいの地域の役場の窓口、相談支援専門員や学校、病院・施設の専門職の方などに相談してみてください。

どこに相談したらよいか分からない方や研修を希望される方は「かけはし」のホームページにて各種案内も出していますので、まずはそちらをご覧ください、不明なことなどあればお問い合わせください。

「かけはし」は埼玉県の医療的ケア児等支援センターです。県外の方でご自身の生活に関わることの相談をされたい方はお住まいの地域のセンターへご相談ください。

2025年4月

埼玉県医療的ケア児等支援センター

 地域センターかけはし

Mai : [ikea-center@karugamo.or.jp](mailto:ikea-center@karugamo.or.jp)

開所時間：月～金曜日 9:00～17:00(土日・祝日を除く)

〒350-0844 川越市鴨田1930-1 カルガモの家内